

## MetaMoJi 活用授業 学習指導案（コミュニケーション英語Ⅱ）

- 1 日 時 令和3年2月  
 2 指 導 者 野添 祐輔  
 3 指導クラス 1年  
 4 場 所 1年 情報処理科教室  
 5 学 級 観

情報処理科（1クラス38名）のクラスである。検定取得をはじめ、日頃の授業にも前向きに取り組み、学習意欲の高い生徒が集まっている。クラスの雰囲気はよく、人間関係の心配はない。昨年度から教科担任として関わっており、ある程度の人間関係が形成されている。

- 6 科目／単元名 コミュニケーション英語Ⅰ／Lesson 10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles  
 7 使用教材 教科書（Comet English CommunicationⅠ 教育出版）  
 8 単元の目標

- ・インスタントラーメンを発明した安藤百福が題材である。安藤百福がどのような発見をもとにカップラーメンを発明したのか、安藤の発明に取り組む姿勢について理解をする。
- ・文法項目では関係代名詞の **who / which** が登場する。中学校で既習の文法事項ではあるが、関係代名詞を用いることでより複雑な表現を使えるようになることを目指す。

### 9 指導計画

	指導内容	配当時間
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の内容の導入を行い、トピックについて興味をもたせると共に、本文の概要を理解させる。導入で MetaMoJi を使ってペアでオリジナルのカップヌードルを作らせる。</li> <li>・安藤さんがどのような人物なのかを考えさせる。</li> <li>・関係代名詞 <b>who</b> の導入を行う。</li> </ul>	1時間
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Prat1の詳細な内容理解を理解させる。</li> <li>・インスタントラーメンの作り方を理解し、MetaMoJi を用いて英語と絵で図解できるようにさせる。</li> <li>・Part1の音読練習を通じて、スムーズに音読ができるようにさせる。</li> </ul>	1時間
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Prat2の概要を理解させる。</li> <li>・安藤さんがどのようにインスタントラーメンを思いついたのかを理解し、MetaMoJi でまとめさせる。</li> <li>・関係代名詞 <b>which</b> を用いた表現を理解する。</li> </ul>	1時間 <本時>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Prat2の詳細な内容を理解させる。</li> <li>・Part2の音読練習を通じて、スムーズに音読ができるようにさせる。</li> </ul>	1時間
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Prat3の概要を理解させる。</li> <li>・安藤さんが何からカップ麺の蓋を思いついたかを理解させる。</li> </ul>	1時間
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Prat3の詳細な内容を理解させる。</li> <li>・Part3の音読練習を通じて、スムーズに音読ができるようにさせる。</li> </ul>	1時間
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・L10の内容をグループごとに MetaMoJi を使って4コマ漫画にし、リテリングをさせる。</li> </ul>	1時間

### 10 本時の目標及び評価基準

#### (1) 目標

- ア 本文の概要を理解できる。  
 イ 安藤さんがどのようにカップラーメンを思いついたのかが理解できる。  
 ウ 自分の意見を積極的に説明することができる。

#### (2) 評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現する。	本文から、安藤さんがどのようにしてカップラーメンのアイデアを得たかを理解する。	関係代名詞 <b>who / which / that</b> の用法を理解する。インスタントラーメンやカップラーメンが登場した背景や、世界で受け入れられていることを理解

している。

11 本時の展開

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
5分	Warm up	・質問に答える。	・前時の内容・単語を確認させる。	①積極的に活動し、既習事項を定着させることができているか。	・活動の観察
10分	導入及び語彙の確認	・教員の Oral interaction を聞いて、本文の内容を予想する。 →He wanted people overseas to eat his noodles too.  →Overseas.  →Well, I think he wanted to sell his noodle in other countries too.  ・教師に続いて単語をリピートして練習する。	・ Oral introduction を通じ、本時の題材について考えさせる。 →In part1, what did Ando want peoples overseas to do after his noodles became popular in Japan? →Look at the picture on Page 108. Where did Ando visit? → Why did Ando visit overseas? Any ideas should be fine. (自分なりの答えを考えさせる)  ・教科書を用いて新出単語とフレーズの導入を行う。	③導入を聞き、内容を予想できているか。  ④新出単語やフレーズを正しく発音し理解できているか。	・活動の観察
15分	リスニングによる概要の確認	・ CD の音声を聞き、3つの質問に回答する。難しい場合は本文を参考にしてもよい。 →A1. He went to the USA. He visited companies which were interested in his products →A2. He asked buyers to try his noodle. →A3. He used paper cup and fork. →A4.He got idea for noodles in a cup.  ・ペアで概要に関する質問の答えを共有する。	・ CD の音声を聞かせ、本文の概要を理解させる。細かい内容把握については、次の時間に行う。 →Q1. Which country did Ando go in 1966? why?  →Q2.What did Ando ask buyers to do? →Q3.What did a man use to eat instant noodles? →Q4.What idea did Ando get there?  ・ペアで本文の概要について情報を共有させる  →Please share your idea with your partner.	②③本文の内容を聞きとり、本時のテーマを理解して要点をまとめることができているか。	・活動の観察 ・ワークシート
15分	本時の概要のまとめ	・ MetaMoJi を使いそれぞれの絵にあう説明を本文から抜き出す。  ・それぞれの絵の説明を	・ 本文のポイントをワークシートにまとめさせる。 →How did a man eat instant noodle? Please illustrate your idea.  →Please make captions	③④本文の概要を理解したうえで、MetaMoJi を使い店員がどのように即席麺を食べたかが説明できるか。	・活動の観察 ・ワークシート

		完成させ、正しい順番に絵を並びかえる。	of these pictures, then put them in the right order. →難しいようならペアと協力して取り組んでも良い。 →回答を何人か選び全体で共有する。共通する間違いがあれば全体で訂正する。		
10分	まとめ	・本時に学んだ文法項目および内容を次回までにまた復習しておく。	・本時の内容について全体でワークシート問題の確認を行う。 ・次時までの課題について伝える。		

### 【MetaMoJi の活用について】

- このパートの概要を理解した後に、リテリング活動として、安藤さんがどのようにカップラーメンを思いついたのかを、MetaMoJi 上でピクチャーカードを正しい順番に並び替え、それぞれのカードの適切な説明を、本文を参考にしながら完成させる。
- ①本文の内容を思い出しながらかードを正しい順番に並べる。
- ②1マス目を参考にしながら、それぞれのカードに説明を記入する。
- ③分からない場合は、プリントなどを参照しても良い。

Q: How did the man eat instant noodles?  
Step1: Put the pictures in the right order.  
Step2: Make captions of these pictures.

①	②	③	④
			
A man brought a paper cup instead of bowls.			



### 【MetaMoJi 活用の意図】

- 実際に画像を並べ替えて、それぞれの画像に説明を記入し図解することにより、抽象的な理解でなく、より具体的に話の内容を理解する事ができると考えた。

### 【MetaMoJi 活用の成果】

- 修正が容易であり、図式化するなどの視覚的な理解がしやすいこと、生徒の試行錯誤のプロセスがリアルタイムで観察できるため、つまづきやすい箇所の共有や良い例の共有が容易であった。

### 【今後の課題】

- 起動に時間がかかるため、プリントとタブレットの切り替えがスムーズに行えない。（授業前に前に起動しておかなければならない。）
- プリントと異なりワーキングスペースが小さいため、情報量が増えると作業効率が落ちやすい。また、タブレットのスペックの問題であるのか、扱う情報量が多くなると挙動が不安定になる。
- ネット環境が不安定なため、毎時間うまく MetaMoJi にアクセスできない生徒が出てくる。
- 今回のような活動には使えるが、どのような場面においても使えるわけではなく、活用場面を考えなければならない。一部の生徒からも、英語の授業なのか、タブレットの授業なのか分からないとの声もあった。
- キーボード操作が苦手な生徒が多く、機能的にノート代わりに使うことは難しい。最低でもタッチペンが必要である。
- 生徒が記入したワークシートをファイル上で整理して保存することで、一過性のものでなく、復習などに使用できるようにしていけるよう運用を工夫していく必要がある。